

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ヤギウ シンゴ 柳生 真吾	男	1968 2015	東京都	東京都	『山梨県人物・人材リスト2023』 『柳生真吾のガーデニングはじめの一步』	産業	園芸家、タレント。父は俳優の柳生博。玉川大学農学部卒業後、花の生産農家で3年間修業し園芸の基礎を学ぶ。その後、北社市大泉町にある手づくりの雑木林にレストランやギャラリーを併設した、ハケ岳倶楽部を運営し、代表を務める。1999年から8年間NHK「趣味の園芸」のメインキャスターを務める。『柳生真吾のガーデニングはじめの一步』『山梨県人物・人材リスト2023』	『柳生真吾のハケ岳だより』(日本放送出版、2004) 『柳生真吾のガーデニングはじめの一步』(家の光協会、2008) 『男のガーデニング入門』(角川書店、2006) 『柳生真吾のガーデニングはじめの一步』(家の光協会、2008) 『柳生真吾の雑木林はテーマパークだ!』(日経新聞社出版、2010)ほか	『柳生真吾のハケ岳だより』(日本放送出版、2004) 『柳生真吾のガーデニングはじめの一步』(家の光協会、2008) 『ハケ岳デイズ2014vol.7』(芸文社、2014、p22~35) 『柳生真吾のハケ岳みどり通信』(山梨日日新聞、2008.1.19~2014.12.13) 『山梨日日新聞』(2015.5.8 27面) 「ハケ岳倶楽部」 https://yatsugatake-club.com (2024.10.1確認)	2024/10/1	金田一
ヤギウ ヒロシ 柳生 博	男	1937 2022	茨城県	茨城県	『山梨県人物・人材リスト2023』	芸術・スポーツ	俳優。ハケ岳倶楽部オーナー、日本野鳥の会名誉会長、鳥根県立三瓶自然館名誉館長。北社市ふるさと親善大使。(2017年~) 俳優座養成所第9期生。生家は茨城の柳生一族に連なる旧家。テレビを中心に俳優を続けながら、1988年に自ら育てた雑木林の中(大泉村)にレストランとギャラリーを併設したハケ岳倶楽部を開く。 (『山梨県人物・人材リスト2023』)	『ハケ岳倶楽部森と暮らす、森に学ぶ』(講談社、1994) 『柳生博鳥と語る』(ぺんぎん書房、2005) 『柳生博の庭園作法花鳥風月の里山』(小学館、2005) 『じいじの森』(清流出版、2012) 『森に暮らし、鳥になった人。』(東京ニュース通信社、2022)	『山梨県人物・人材リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p542~543) 『山梨日日新聞』2022.4.22、27面 『ハケ岳倶楽部森と暮らす、森に学ぶ』(講談社、1994) 「山梨県北社市公式サイト」 https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/ (2024.10.1確認)	2024/10/1	金田一
ヤサキ キミヨ 矢崎 きみよ	女	1891 1979	白根町	南アルプス市	『愛育のあゆみ』	社会科学	白根町連合愛育会長、山梨県愛育連合会会長。甲府家庭裁判所家事調停員。1966年藍綬褒章受賞、1969年恩賜財団母子愛育総裁表彰、1970年勲五等瑞宝章受賞ほか。 (『愛育のあゆみ』)		『愛育のあゆみ』(山梨県白根町母子愛育会、1990、顔写真あり) 山梨日日新聞(2019.2.27、17面、顔写真あり、2019.10.8、22面、顔写真あり)	2024/10/4	白根
ヤサキ ケンクウ 矢崎 源九郎	男	1921 1967	若草町	南アルプス市	『山梨百科事典』	言語文学	言語学者、北欧文学者、児童文学者、東京教育大学助教授。 アンデルセン童話の翻訳と研究。 (『山梨百科事典』)	『アンデルセン童話全集』(矢崎源九郎訳、講談社、1984) 『絵のない絵本』(アンデルセン著、矢崎源九郎訳、新潮社、1952) 『ニルスのふしぎな旅』(セルマ・ラーゲレーヴ著、矢崎源九郎訳、偕成社、1953) 『グリムの昔話』(グリム兄弟著、矢崎源九郎共訳、童話館出版、2000) 『本・子ども・大人』(ポール・アザール著、矢崎源九郎共訳、紀伊国屋書店、1979、山梨県立図書館蔵) 『子どもに聞かせる世界の民話』(実業之日本社、2014)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p792) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p235) 『日本児童文学大辞典第二巻』(大阪国際児童文学館、1994、p233)「山梨日日新聞」(2018.8.8、17面)	2024/10/30	わかくさ

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ヤザキ ミツニ 矢崎 光圀	男	1923 2004	若草村	南アルプス市	『成城法学』	社会科学	法学博士。 日本法哲学会理事、大阪大学名誉教授、成城大学法学教授・部長。 (『成城法学』)	『法哲学』(筑摩書房、1975、山梨県立図書館蔵) 『法の概念』(ハーバート・ハート著、矢崎光圀訳、みすず書房、1976、北杜市立図書館蔵) 『近代法思想の展開』(有斐閣、1981、富士河口湖町立図書館蔵) 『日常生活の法構造』(みすず書房、1987、山梨県立図書館蔵)ほか	『成城法学』第48号・矢崎光圀先生古稀祝賀記念号(成城大学リポジトリで閲覧可)https://seijo.repo.nii.ac.jp(2024.12.5確認) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(『日外アソシエーツ』、2018、p235)	2024/12/5	わかくさ
ヤシロ エイタ 八代 英太	男	1937 	八代町	笛吹市	『山梨県人物・人材情報リスト2023』	社会科学	政治家 元衆議院議員・参議院議員 元テレビ司会者 本名:前島英三郎 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)	『車椅子からみた日本わが福祉社会論序説』(三一書房、1979) 『八代英太の車いす郵政大臣奮戦記』(日本テレソフト、2001) 『負けてたまるか車椅子』(日本図書センター、2001) 『八代英太の車椅子からみた障害者福祉』(エンパワメント研究所、2006)	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(『日外アソシエーツ』、2022、p29~30) 『お父さんの車椅子』(前島由希著、講談社、2000) 『株式会社つなひろワールド』 http://www.tsunahiro.com (2024.11.26最終確認)	2024/11/15	八代
ヤダ キミオ 矢田 喜美雄	男	1913 1990	増田村	笛吹市	『山梨県人物・人材情報リスト2002』	社会科学 芸術・スポーツ	元走り高跳び選手、ベルリンオリンピック第5位入賞。 元朝日新聞記者(下山事件担当) (『山梨県人物・人材情報リスト2002』) 朝日新聞に連載された藤沢恒夫の『新雪』は教職時代の矢田がモデルとなった。 (『翔んだ男矢田喜美雄』)	『謀殺下山事件』(講談社、1973)	『山梨県人物・人材情報リスト2002』(『日外アソシエーツ』、2002、p369) 『翔んだ男矢田喜美雄』(『翔んだ男矢田喜美雄』刊行委員会、1991)	2024/11/25	竜王
ヤダ シゲル 矢田 茂	男	1917 1987	甲府市	甲府市	『著作権台帳』 『山梨県人物・人材情報リスト2023』	社会科学 芸術・スポーツ	ダンサー、舞台プロデューサー。 甲府一高卒(『甲府一高同窓会誌』) 『新宿福祉の家』代表。 舞台プロデューサー、「ダン・ヤダ・ダンスーズ」主宰。 パリのムーランルージュで公演。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)	『私はこの街を愛している』作詞(作曲・市村俊幸、歌・森繁久弥、レコード『マイライフマイピアノ』収録)	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(『日外アソシエーツ』、2022、p556) 『映画技術』3巻13号(日本映画技術協会、1955.7、p26-27) 『毎日新聞夕刊』(1990.11.13、8面) 『ネットワーク』(2005年5・6月号から2006年3・4月号まで「地平をひらくボランティアたち」5回連載) ほか	2024/11/25	竜王
ヤツノ コマオ 八代 駒雄	男	1840 1897	穴山村	韮崎市	『韮崎市誌』 『山梨百科事典』	哲学・宗教 社会科学 自然科学 医学	医師。 甲斐国一宮浅間神社禰宜・宮司、御嶽金桜神社宮司、信濃国一宮諏訪神社宮司などを歴任。 また、県令藤村紫朗の信任を得て西山梨郡長・中巨摩郡長・南北都留郡長を歴任。 (『韮崎市誌』) 甲府市長禪寺、都留市大神宮公園に碑がある。 (『山梨百科事典』)		『韮崎市誌』下巻(『韮崎市』、1979、p442) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p948)	2024/11/1	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ヤブウチ マサユキ 数内 正幸	男	1940 2000	大阪府	大阪府	「数内正幸美術館(北杜市)ホームページ」	芸術・スポーツ	画家 1940年大阪に生まれ。子どもの頃から動物が好きで、独学で動物の画を描き始める。1959年、高校卒業と同時に上京。図鑑画を描くため福音館書店に入社し、図鑑・絵本の画を担当する。1971年にフリーランスに転身。動物画家として図鑑、絵本、広告など幅広い分野で活躍。2000年逝去。 (『ヤブさん数内正幸・動物画に生きた六十年』)	絵・挿絵 『どうぶつのおやこ』(福音館書店、1966) 『しっぽのはたらき』(福音館書店、1972) 『コウモリ』(福音館書店、1983) 『日本の恐竜』(福音館書店、1988) ほか	『ヤブさん数内正幸・動物画に生きた六十年』(たまだあ編集室、2004) 「数内正幸美術館ホームページ」 https://yabuuchi-art.jp/ (2024.10.23確認)	2024/10/23	はくしゅう
ヤマキ クマン 八巻 九萬	男	1852 1929	高根町	北杜市	『山梨百科事典』	社会科学	1929年、箕輪村(高根町)出身。慶應義塾大学に学び、漢学と西洋学を修めた新知識人として知られた。1879年山梨県議会議員 1881年山梨県議会議長 第一回衆議院議員総選挙に当選、大成会に属す。 晩年、東京に山梨共修社を創設、郷党子弟の指導にあたった。 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p956) 『ハヶ岳の生んだ偉人 八巻九萬翁』(手塚利明編、出版年不明) 『高根町 郷土史に輝く人びと』(高根町郷土研究会編、2002、p52-67) 『郷土史にかがやく人々(集合編2)』(青少年のための山梨県民会議、1980、p103-122) 『山梨共修社百年史』(山梨共修社、2002、p19-54)	2025/1/24	たかね
ヤマキ ヨシオ 八巻 与志夫	男	1954 	若草町	南アルプス市	『山梨県人物人材情報リスト2000』	歴史・地理	郷土史家。 山梨県埋蔵文化財センター文化財主事、所長を歴任。 (『山梨県人物人材情報リスト2000』)	『古代甲斐国の謎』(新人物往来社、1985) 『戦国武将・武田信玄』(新人物往来社、1988) 『新府城と武田勝頼』(新人物往来社、2001) 『新府城の歴史学』(新人物往来社、2008)	『山梨県人物人材情報リスト2000』(日外アソシエーツ、2000、p392)	2024/11/1	萠崎
ヤマキタ シゲリ 山北 しげり	男	1912 1994	甲府市	甲府市	「山梨日日新聞」 『やまわらべたち』	文学	童謡詩人。本名は山北茂利。大村主計に師事し「ぶんぶく茶釜」などを作詩。童謡集「小人の踊り」を刊行。 (「山梨日日新聞」) 戦前より多くの童謡を作詩する。晩年を竜王町で過ごした。 (『山北しげり童謡集』)	『山北しげり童謡集』(竜王町、1995) 童謡「ぶんぶく茶釜」(中山晋平作曲、ビクターレコード)	「山梨日日新聞」(2000.2.22、11面、顔写真あり) 『やまわらべたち』(竹内秀秋著、ふじ音楽事務所、2003、p42~43)	2024/11/25	竜王

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ヤマグチ ススム 山口 進	男	1948 2022	三重県	三重県	『珍奇な昆虫』	自然科学・ 医学	コンピューター会社勤務を経て独立。昆虫植物写真家。 自然科学写真家協会会員 日本鱗翅学会会員 山梨県在住 40年以上にわたり「ジャポニカ学習帳」(ショウワノート)の表紙写真を撮影。 (『珍奇な昆虫』) 『五麗蝶譜 シジミチョウとアリの共棲』で第1回日本蝶類学会江崎賞を受賞(1993) 『万葉と令和をつなぐアキアカネ』で第61回日本児童文学者協会賞を受賞(2021)	『五麗蝶譜 シジミチョウとアリの共棲』(講談社、1988) 『砂漠の虫の水さがし』(福音館書店、2000) 『米が育てたオオクワガタ』(岩崎書店、2006) 『実物巨大昆虫探検図鑑』(岩崎書店、2008) 『カブトムシ山に帰る』(汐文社、2013) 『万葉と令和をつなぐアキアカネ』(岩崎書店、2020)	『珍奇な昆虫』(光文社、2017、奥付)	2024/11/9	すたま
ヤマグチ ヨシアキ 山口 好昭	男	1941 	上野原町	上野原市	『食と邑おこし』(文芸社)	産業	ふるさと長寿館館長 山梨県農村休暇邑ゆうゆう案内人 上野原市議会議員	『食と邑おこし』(文芸社、2005)『未来につなぐまちおこし長寿の里・山梨県上野原市の実践』(文芸社、2019)	『食と邑おこし』(文芸社、2005)	2024/11/12	上野原
ヤマザキ テルトモ 山崎 照朝	男	1947 	大和村	甲州市	『無心の心』	芸術・ス ポーツ	第1回全日本空手道選手権大会優勝 (『無心の心』)	『無心の心』(スポーツライフ社、1980) 『山崎照朝の実戦空手』(池田書店、1984)	『無心の心』(スポーツライフ社、1980 裏表紙、顔写真あり) 『山崎照朝の実戦空手』(池田書店、1984 裏表紙、顔写真)	2024/10/31	大和
ヤマザキ ホウダイ 山崎 方代	男	1914 1985	右左口村	甲府市	『山崎方代全歌集』	文学	歌人。 1972年から晩年まで鎌倉で暮らした。 1975年「短歌」昭和49年9月号掲載『めし』が第1回角川短歌愛読者賞受賞。 (『山崎方代展』) (『山梨県人物・人材リスト2023』)	『右左口』(短歌新聞社、1974) 『こおろぎ』(短歌新聞社、1980) 『青じその花』(かまから春秋社、1981) 『首』(短歌新聞社、1981) 『迦葉』(不識書院、1985) 『山崎方代全歌集』(不識書院、1995)	『山梨県人物・人材リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p383~384) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p355~) 『山崎方代展』(山梨県立文学館、1994) 『山崎方代のうた』(大下一真著、短歌新聞社、2003) 『方代を読む』(現代短歌社、2012) 『方代研究』(山崎方代を語り継ぐ会、創刊号~) 『山崎方代の百首』(ふらんす堂、2023) ほか	2024/11/24	県立
ヤマシ ススム 山地 進	男	1929 	富士吉田市	富士吉田市	『山梨日日新聞』	産業	農政評論家。 内外食料経済研究会代表、山人会会長。京都工芸繊維大学繊維学部卒。 1953年日本経済新聞社入社。1969年編集委員兼論説委員、1984年日経を定年退職。2006年学術文化団体・山人会会長に就任。 (『山梨県人物・人材情報リスト2007』)	『再出発する日本農業』(永田農共著、農業図書、1962)	『山梨県人物・人材情報リスト2007』(日外アソシエーツ、2006、p343~344) 『山梨日日新聞』(2006.2.12、9面)	2024/12/27	富士吉田

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ヤマタ カシ 山下 孝司	男	1957 	竜王町	甲斐市	『山梨県人物人材情報リスト 2000』	歴史・地理	考古学研究者。 日本考古学協会会員。 (『山梨県人物人材情報リスト2000』)	『戦国武将・武田信玄』(新人物往来社、 1988) 『新府城と武田勝頼』(新人物往来社、 2001) 『中世近世甲斐の社会と文化』(岩田書 院、2005) 『新府城の歴史学』(新人物往来社、 2008) 『戦国期の城と地域』(岩田書院、2014) 『甲信越の名城を歩く山梨編』(吉川弘 文館、2016)	『山梨県人物人材情報リスト2000』(日外 アソシエーツ、2000、p395)	2024/11/1	萠崎
ヤマダ コウゾウ 山田 耕三	男	1932 	京都府	京都府	『山梨百景』 『山鳴る』	芸術・ス ポーツ	3歳のとき、甲府へ転居、現在は甲斐市 在住。 1953年、第2回全国公務員レクリエー ション(山梨)絵画展で特選をはじめ、受 賞多数。 1985～1991年、山梨県立美術館副館 長。 1991～1993年、山中湖高村美術館館 長。 1996年、旧竜王町北部公園モニュメント 制作。(『山梨百景』) 1997年、第2回NHK地域放送文化賞受 賞。 1998年、第1回山梨県文化賞・文化功 労章受章、第12回山人会前田晁文化 賞受賞。 2001年、櫛形町立春仙美術館館長。 2002年、南アルプス市制施行により同 市立春仙美術館・白根桃源美術館館 長。 (『山鳴る』)	『山田耕三』(山梨日日新聞社、1994) 『山梨百景』(山梨日日新聞社、1997) 『スケッチ富士の表情100』(ART・R、 2006) 『春によし』(ART・R、2009) 『山鳴る』(ART・R、2013) ほか	『山梨百景』(山梨日日新聞社、1997、 p227～p230) 『ザ・やまなし』(山梨日日新聞社、1997 年12月号、p2～3) 『山鳴る』(ART・R、2013、略歴p248～ 251)	2024/11/25	竜王
ヤマダ カイチ 山田 多賀市	男	1907 1990	長野県 南安曇野郡 三田村	長野県 安曇野市	『終焉の記』	文学	子守奉公・大工の従弟・瓦焼屋の従弟・ 農家の雇人・土方・瓦焼職人・25歳で実 際運動から転向、文学作家を志す(『終 焉の記』) 『実録小説北富士物語』(たいまつ社、 1977) 『終焉の記』(山梨ふるさと文庫、1987)	『耕土』(文化山梨社、1947) 『農民』(東邦出版社、1974) 『雑草』(東邦出版社、1971) 『資料と研究第五輯』(山梨県立文学 館、1998、p27) 『資料と研究第五輯』(山梨県立文学 館、2000、p152) 『山梨の農民文学』(山梨県立文学館、 2003、p8) 『山梨の文学第20号』(山梨県立文学 館、2004、p35)	山梨日日新聞(1999.12.7、12面) 『山梨の子ども文学風土記』(山梨国語 教育研究会、1987、p70) 『終焉の記』(山梨ふるさと文庫、1987、 206p) 『山梨の文学第14号』(山梨県立文学 館、1998、p27) 『資料と研究第五輯』(山梨県立文学 館、2000、p152) 『山梨の農民文学』(山梨県立文学館、 2003、p8) 『山梨の文学第20号』(山梨県立文学 館、2004、p35)	2024/11/1	双葉
ヤマダ トシ 山田 十士子	女	1943 	山梨県	山梨県	『すいぎんちたのくってんかい ねい』	文学	保育士 元双葉西保育園園長 (『すいぎんちたのくってんかいねい』)	『すいぎんちたのくってんかいねい』 (文芸社、2009) 『漢字と私森羅万象編』(協立コミュニ ケーションズ、2021)	『すいぎんちたのくってんかいねい』 (文芸社、2009、奥付) 『山梨日日新聞』(2009.1.31.15面) 『山梨日日新聞』(2021.11.25.18面)	2024/11/1	双葉

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ヤマデラ ジンタロウ 山寺 仁太郎	男	1919 2016	萇崎市	萇崎市	『山梨県人物人材情報リスト2019』	歴史・地理	郷土史家。 日本山岳会員や山梨郷土研究会員として、山岳信仰と山岳風習などを研究。総合文芸誌「中央線」発行人も務めた。2001年野口賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』)	『五車』(五車会、1991) 『甘利山』(山梨日日新聞社、2001) 『中央線』(中央線社)	『21世紀—山梨の100人』(山梨新報社、2002、p176~177) 『中央線』第73号(中央線社、2016、p4~9) 『山梨県人物人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p237)	2024/11/1	萇崎
ヤマモト イクオ 山本 育夫	男	1948 2023	山梨市	山梨市	『山梨県人物・人材情報リスト2015』 『山梨日日新聞』	芸術・スポーツ 歴史・地理	美術ジャーナリスト、詩人、造形作家。2003年、NPO法人“つなぐ”を結成。つなぐ理事長。 県立美術館学芸員を経て、ミュージアム・マガジン「DOME」、アートマガジン「L/R」各編集長。 (『山梨県人物・人材情報リスト2015』) 活動の原点は美術。東京芸大で学び、コンセプチュアルアートなど現代美術を制作しながら、高校の美術教諭、県立美術館勤務を経験。退職後はフリーの雑誌編集者となった。2003年に設立したつなぐは、「街全体がミュージアム」の視点で、地域を歩きながら歴史や文化を学ぶツアーを企画し、300冊以上のガイドブックも制作した。(『山梨日日新聞』)		『山梨県人物・人材情報リスト2015』(日外アソシエーツ、2014、p373.P399) 『MUHvol.41』(2009.10、p9) 『山梨日日新聞』(2012.11.25.2面、2024.8.23、10面、顔写真あり)	2024/9/28	甲府
ヤマモト ケンイチ 山本 健一	男	1979 	山梨県	山梨県	『トレイルランナーヤマケンは笑う』	芸術・スポーツ	トレイルランナー、高校教諭。 信州大学時代はモーグル選手として活躍。そのトレーニングの一環として山を走っていたことがきっかけでトレイルランニングの世界へ。 2012年に日本国内で初めて開催された100マイルレース「ウルトラトレイル・マウントフジ(UTMF)」で日本人最高の3位に入賞。8月末のフランス「グランレイド・デ・ピレネー」では日本人初の優勝。 トレイルランナーとして国内外の数々のレースに挑戦している。 (『トレイルランナーヤマケンは笑う』)	『トレイルランナーヤマケンは笑う』(カンゼン、2015) 『甲斐国ロングトレイル』(FULLMARKS、2021)	『トレイルランナーヤマケンは笑う』(カンゼン、2015、p207)	2025/1/13	萇崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ヤマモト シュウゴ ¹ ロウ 山本 周五郎	男	1903 1967	初狩村	大月市	『大月人物伝』 『山本周五郎KAWADE夢ムック』 『山梨県人物・人材情報リスト2011』 『山梨百科事典』	文学	小説家。 本名清水三十六(さとむ) 1907年初狩村の大洪水により4歳で東京に転居。 小学校卒業後、東京市木挽町の山本周五郎書店(きねや)で丁稚奉公しながら学校に通う。 関東大震災後、地方新聞記者、雑誌記者などをする。 1926年文壇出世作となる「須磨寺附近」発表。 1943年「日本婦道記」で直木賞に推されたが辞退。以後も各賞を辞退。 (『大月人物伝』、『山梨県人物・人材情報リスト2011』)	『須磨寺付近』(文芸春秋、1926) 『小説日本婦道記』(講談社、1943) 『樅ノ木は残った』(日本経済新聞、1954) 『雨あがる』(同光社、1956) 『赤ひげ診療譚』(文芸春秋新社、1959) 『さぶ』(新潮社、1963) ほか 山梨を題材にした作品 『夜明けの辻』、『明和絵暦』、『甲州小説集』実業之日本社全集未収録作品集六として刊行(『明和絵暦』『米の武士道』、『夜霧の半太郎』など収録)、『山彦乙女』、『戦国少年記』	『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p291~294、顔写真あり) 『曲軒・山本周五郎の世界』(山梨県立文学館、1998、p68~69) 『山梨日日新聞』(2003.6.21、13面) 『山本周五郎の世界』(新評社、1981、p222~230) 『山梨「人物」博物館 甲州を生きた273人』(丸山学芸図書、1992、p203~204、顔写真あり) 『郷土史にかがやく人々 第5集』(青年のための山梨県民会議、1973、p95~118、顔写真あり) 『文豪ナビ山本周五郎 新潮文庫や-2-0』(新潮社、2005、p157~159、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p361) 『山本周五郎「国文学解釈と鑑賞」別冊』(至文堂、2000、p204~242) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p1018)	2024/11/26	大月
ヤマモト タケハル 山本 丈晴	男	1925 2011	河口村	富士河口湖町	『僕のそばには、いつも音楽と感動と愛のときめきがあった』	芸術・スポーツ	作曲家の古賀政男に師事し、ギター演奏により古賀メロディの普及に貢献。 女優山本富士子の夫。 第48回日本レコード大賞功労賞受賞。 (『僕のそばには、いつも音楽と感動と愛のときめきがあった』)	『僕のそばには、いつも音楽と感動と愛のときめきがあった』(ワン・ツー・ワン・プロダクツ、2006)	『僕のそばには、いつも音楽と感動と愛のときめきがあった』(ワン・ツー・ワン・プロダクツ、2006、奥付)	2024/12/28	富士河口湖
ヤマモト チスキ ¹ 山本 千杉	男	1929 	高根町	北杜市	『逸見筋の歳時記・方言』 『日本の神話-古事記より』	歴史・地理 言語	1929年、代々神職の家生まれる。 1948年、山梨師範学校卒業後、県内小中学校で教鞭をとり1989年退職。 高根町郷土研究会員、高根町社会教育委員、高根町文化財審議委員などを務め、現在、蔵原諏訪神社宮司。 (『逸見筋の歳時記・方言』『日本の神話-古事記より』)	『甲斐国志にみる高根町』(小宮山プリント社、1993) 『古事記に現れる「神名要覧」』(小宮山プリント社、1994) 『逸見筋の歳時記・方言』(小宮山プリント社、1997) 『高根町内神社とまつりごと』(小宮山プリント社、2007) 『日本の神々』(小宮山プリント社、2007) 『日本の神話-古事記より』(小宮山プリント社、2010) ほか	『逸見筋の歳時記・方言』(山本千杉編、小宮山プリント、1997、p261) 『日本の神話-古事記より』(山本千杉著、小宮山プリント社、2010、p72著者略歴に顔写真あり)	2025/1/24	たかね

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典拠	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ヤマモト ミカ 山本 美香	女	1967 2012	都留市	都留市	『山本美香という生き方』	図書館・情報	都留文科大学卒業後、CS放送局の記者、ディレクターを経て1996年から独立系通信社ジャパンプレスに所属。世界各地の紛争地、米国同時多発テロ戦時下のアフガニスタン、イラク戦争等取材、リポート。大学非常勤講師として、また講演活動等で活躍。2012年8月20日、シリア内戦の取材中、銃撃を受け殉職。ポーン・上田記念国際記者賞特別賞、都留市市民栄誉賞受賞。(『山本美香という生き方』)	『匿されしアジア』(共著、風媒社、1996) 『中継されなかったバグダッド』(小学館、2003) 『ほくの村は戦場だった』(マガジンハウス、2006) 『戦争を取材する』(講談社、2011) 『山本美香という生き方』(日本テレビ放送網、2012) 『山本美香が伝えたかったこと』(山梨日日新聞社、2014) 『これから戦場に向かいます』(ポプラ社、2016) 『ザ・ミッション』(早稲田大学出版部、2013) 『戦争の教室』(共著、月曜社、2014)	『これから戦場に向かいます』(ポプラ社、2016、p49) 『山梨日日新聞』 (2022.8.20、3面、27面 27面に顔写真あり)	2024/11/8	都留
ヤマモト ユウスケ 山本 裕輔	男	1982 	山梨県	山梨県	『めぐる日本のモノづくり52』 『印伝の山本』HP	芸術・スポーツ	1982年生まれ。甲州印伝工芸士。中学生のころ日本唯一の甲州印伝の伝統工芸士であった父からの影響を受け、この道を目指す。 (『めぐる日本のモノづくり52』) 2018年甲州印伝伝統工芸士(総合部門)No.507802称号取得。 2017年『日本伝統工芸士会会長賞』 2018年『全国中小企業団体中央会会長賞』 2020年『関東伝統工芸士会会長賞』 2020年「第45回全国伝統的工芸品公募展」にて『若手奨励賞』 2022年『関東伝統工芸士会会長賞』 2023年「令和5年度伝統的工芸品産業功労者等経済産業大臣表彰」にて『奨励賞』、「令和5年度日本伝統工芸士会表彰」にて『功労者表彰』受賞。 県内教育機関や団体などで甲州印伝に関する歴史講演なども開催し、広く甲州印伝の知名度を上げるべく活動している。 (『印伝の山本』HP)		『めぐる日本のモノづくり52』(美術出版社、2017、P96~99) 『印伝の山本』 http://www.yamamoto-inden.com/ (工芸士紹介(2024.9.28確認)) 『日本の伝統工芸士』 http://www.kougeishi.jp/index.html (一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会)(2024.11.29確認) 『やまなしの美技』 https://www.pref.yamanashi.jp/shouko/kogyo/densan/inden_shokunin_02.html (2024.9.28確認)	2024/9/28	甲府
ユウ ヒカル 優 ひかる	女	不詳	塩山市	甲州市	『ザ・タカラヅカ』 『HandyTakarazukaOtome月組』	芸術・スポーツ	宝塚音楽学校95期生宝塚歌劇団月組 (『ザ・タカラヅカ』)		『ザ・タカラヅカ』(阪急コミュニケーションズ、2011、p51) 『HandyTakarazukaOtome月組』(阪急コミュニケーションズ、2010、p77) 『山梨日日新聞』 2025.1.18、20面 2025.1.17、24面 2009.3.31、8面	2025/2/28	塩山

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ユキエ ナホミ 雪江 なほみ	女	1941 	甲府市	甲府市	『山梨現代美術の軌跡』	芸術・スポーツ	工芸家、ジュエルアート作家。 九人展事務局長。 「ジュエルスタンド」を考案。 甲府盆地ナイトツアーを考える会に参加。 (『山梨現代美術の軌跡』) 1995年、JJAジュエリーコンテスト95にて、通産産業省生活産業局長賞受賞。 (「ジュエルスタンドアトリエ雪江」)		『山梨現代美術の軌跡』(現代美術「こうふ展」実行委員会・甲府教育委員会、2005、p18) 「ジュエルスタンドアトリエ雪江」 http://www5.nns.ne.jp/~jewel.stained// (2024.9.28確認)	2024/9/28	甲府
ユキマリ 袖木 真理	女	不詳	東京都	東京都	『父さん、ぼく面倒みきれません。』	文学	大学で国文学・民俗学を学び、昔話の研究書を2冊著す。 小学校・養護学校教員、山梨県史や富士吉田市史等の編集専門調査員(民俗編)をつとめる。 『にいちちゃん、ぼく反省しきれません。』は第10回読書感想画中央コンクールの指定図書になる。 清里高原在住。 (『父さん、ぼく面倒みきれません。』)	『にいちちゃん、ぼく反省しきれません。』(ポプラ社、1998) 『父さん、ぼく面倒みきれません。』(新風舎、2005)	「山梨日日新聞」(2005.2.27、13面) 「袖木真理のホームページ」 http://ameblo.jp/hoyurican/ (2025.1.24確認) 『父さん、ぼく面倒みきれません。』(新風舎、2005、奥付)	2025/1/24	たかね
ヨコウチ カナメ 横内 要	男	1908 1989	韮崎市	韮崎市	『甲州百人の顔』 韮崎市ホームページ	社会科学	元韮崎市長(第2代から第6代)。 韮崎紡績(株)社長、山梨県議会議員(2期)同議長を歴任。勲三等瑞宝章、韮崎市名誉市民(『甲州百人の顔』)		『甲州百人の顔』(株式会社豆州かわら版、1983、p150～151、富士吉田市立図書館所蔵) 「韮崎市ホームページ」 https://www.city.nirasaki.lg.jp/material/files/group/4/28-29p.pdf (2025.1.13確認) 「山梨日日新聞」1989.5.1、15面、顔写真あり、1989.12.30、16面、顔写真あり	2025/1/13	韮崎
ヨコセ ノブコ 横瀬 信子	女	1948 	富士吉田市	富士吉田市	山梨日日新聞「やまなし文学賞」	文学	『餅こだま』同人発行 やまなし文学賞受賞 銅版画家 (山梨日日新聞)	『餅こだま』(日下部読書会、1948～、山梨県立図書館所蔵) 『優しい雲』(山梨日日新聞社、2002) 『大きな大きなおんなの子』(金の星社、1987)	「山梨日日新聞」 2013.03.11、2面 1996.10.27、17面 1994.10.6、5面 『山梨文芸の研究』(山梨ふるさと文庫、2009、p295-296)	2025/2/28	塩山

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ヨモリ タミ 横森 巧	男	1942 	祝村	甲州市	『たかがサッカーされどサッカー』	芸術・スポーツ	元サッカー選手。 日本体育大学卒業後、高校体育教師となる。以降、韮崎工業高校、都留高校、谷村工業高校、韮崎高校を歴任。 1973年から1986年まで韮崎高校サッカー一部監督を務め、インターハイ・高校選手権にて活躍。その後高体連事務局、韮崎工業高校を経て2005年より山梨学院高校サッカー部の監督・総監督として指導。2010年全国高校サッカー優勝。 (『たかがサッカーされどサッカー』) 平成22年韮崎市民栄誉賞受賞。(「韮崎市」ホームページ) 2018年全国高校総体優勝。 (「山梨日日新聞」)	『たかがサッカーされどサッカー』(山梨日日新聞社、2017) 『たかがサッカーされどサッカー』(山梨日日新聞社、2017)	『たかがサッカーされどサッカー』(山梨日日新聞社、2017) 「山梨日日新聞」(2018.8.14、25面) 「韮崎市ホームページ」 https://www.city.nirasaki.lg.jp/soshikiic/hiran/hishojinjika/hishotanto/2/1116.html (2025.1.13確認)	2024/11/26	韮崎
ヨモリ トヨ 横森 豊雄	男	1952 	韮崎市	韮崎市	『山梨県人物人材情報リスト2019』	社会科学	宮城大学事業構想学部教授。 英国スターリング大学客員教授、専修大学教授、長崎県立大学教授を経て、2004年から宮城大学事業構想学部教授(『山梨県人物・人材情報リスト2019』)	『英国の中心市街地活性化』(同文館出版、2001、県立大学所蔵)	『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p238)	2024/11/15	韮崎
ヨヤマ アキサク 横山 昭作	男	1927 	韮崎市	韮崎市	『山梨県人物人材情報リスト2011』	社会科学 文学	随筆家。 県内公立学校勤務。1953年から成城学園に勤務。同初等校長・幼稚園園長を歴任。NHK学校放送企画委員。日本私立小学校常任連合会常任理事。山人会理事。 俳誌「黄鐘」同人。 (『山梨県人物人材情報リスト2011』)	『四幕の島』(新生社、1983) 『遠い花火』(千代田永田書房、1988) 『花は葉に』(大成出版社、1995)	『山梨県人物人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p472)	2024/11/1	韮崎
ヨシ トキエ 吉井 ときゑ	女	1922 1998	甲府市	甲府市	『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』	文学	歌人。 伊藤生更に師事。 「見たまま、感じたままをどうさもない言葉で表現する」などの言葉を具現した。 (『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』)	『俱会一処』(吉井ときゑ、1993)	『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p47)	2024/9/29	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典拠	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ヨシカ ジュンサク 吉岡 順作	男	1864 1944	徳条村	笛吹市	『春日居町誌』 『山梨百科事典』 『郷土史にかがやく人々第17集』 『山梨県人物・人材情報リスト 2023』	自然科学・ 医学	医師(地方病・日本住血吸虫病の研究)。 1864年徳条村(現・笛吹市春日居町)の 医家に生まれ、徳典館(山梨大学)医学 部卒。 1888年石和村へ吉岡医院を開業。 1897年水腫張満の患者「杉山なか」の 死体解剖を盛岩寺(清田村向町)で実現 させた。山梨県での献体第1号ともな る。この解剖で虫卵は発見したが、原虫 は明らかにできなかった。 1910年地方病予防予報の論文を国家 医学雑誌に発表。 (『郷土史にかがやく人々第17集』、『山 梨百科事典』、『春日居町誌』)		『春日居町誌』(春日居町、1988、p1337 ~1353、顔写真あり) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p1036~1037) 『郷土史にかがやく人々第17集』(『青少 年のための山梨県民会議、1989、p1~ 30、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p495)	2024/11/14	春日居
ヨシカワ ユキオ 吉川 行雄	男	1907 1937	大原村	大月市	『月夜の詩人吉川行雄』	文学	童謡詩人。 14歳の時、ポリオにより足が不自由とな る。 1924年『赤い鳥』等に作品が入選。 1930年北原白秋門下の雑誌「チチノキ」 同人。 数多くの月の詩を残し「月夜の詩人」と 呼ばれた。 (『月夜の詩人吉川行雄』)	『郭公啼ころ』(吉川行雄、1927) 『ロビン』(発行所不明、1927、『月夜の 詩人吉川行雄』収録) ほか	『月夜の詩人吉川行雄』(てらいんく、 2007) 『山梨日日新聞』(2007.8.29、10面、顔 写真あり) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株 式会社、2008、p295~299、顔写真あ り) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日 外アソシエーツ、2010、p473)	2024/11/26	大月
ヨシガワ ヤスミ 吉沢 やすみ	男	1950 	山梨市	山梨市	『パパとゆっちゃん』	芸術・ス ポーツ	漫画家。 1970年『週刊少年ジャンプ』(集英社)で 『ど根性ガエル』でデビュー。ベストセ ラーになる。 (『パパとゆっちゃん』単行本未収録作 品集)	『ど根性ガエル』(集英社、1995) ほか	『パパとゆっちゃん』(ど根性クラブ、 2010、奥付)	2024/11/24	山梨
ヨダ シゲオ 依田 茂夫	男	1933 	甲府市	甲府市	『青春グラフィティ』	文学	作家。 1983年「笹文学会」へ入会、創作活動を 始める。 (『青春グラフィティ』) 甲州同人雑誌『笹』執筆・編集人・発 行。 (郷土雑誌『笹』)	『青春グラフィティ』(笹文学会、2002) 『花嫁の父』(笹文学会、2002) 『炎暑』(笹文学会、1993) ほか	『青春グラフィティ』(笹文学会、2002、奥 付に著者略歴あり) 郷土雑誌『笹』(笹文学会、年刊)	2024/9/29	甲府
ヨダ トオル 依田 徹	男	1977 	若草町	南アルプス市	『盆栽』	産業	東京藝術大学大学院美術研究科芸術 学専攻、博士後期課程修了。美術博 士。さいたま市大宮盆栽美術館学芸員 を経て、現在は遠山記念館学芸員。専 門は日本近代美術史、茶道史。『近代 の「美術」と茶の湯』により、第24回茶道 文化学術奨励賞を受賞。(『盆栽』)	『女性と茶の湯ものがたり』(淡交社、 2016)『茶を好んだ人』(淡交社、2016) 『盆栽』(KADOKAWA、2015)『近代茶人 の肖像』(淡交社、2015)『盆栽の誕生』 (大修館書店、2014)『近代の「美術」と 茶の湯』(思文閣出版、2013) 『皇室と茶の湯』(淡交社、2019) 『マボロシの茶道具』(淡交社、2019)	『山梨日日新聞』(2014.8.12、13面、 2014.11.19、14面、2015.3.8、9面、 2015.4.25、12面、顔写真あり、 2015.5.23、19面、2015.6.27、13面、 2015.7.25、12面、2015.8.22、12面、 2015.9.26、16面、2015.11.28、16面、 2015.12.26、12面、2016.1.16、12面)	2024/10/30	わかさ

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ヨネザワ ユキオ 米沢 幸男	男	1932 	身延町	身延町	『少年オルフェ』	文学	日本大学法学部卒業。 1962年、長編童話『少年オルフェ』で第3 回講談社児童文学新人賞を受賞。 1965年、NHKで『少年オルフェ』がドラ マ化される。1972年、NHKで再びドラマ 化。 1976年、俳句「乳母車花野をゆくや蝶ふ えて」で、俳人協会全国俳句大会で特 選となる。 (『少年オルフェ』)	『少年オルフェ』(講談社、1981)	『少年オルフェ』(講談社、1981、奥付)	2024/11/30	身延
ヨネナガ クニオ 米長 邦雄	男	1943 2012	増穂町	富士川町	『名人を獲る 評伝米長邦雄』	芸術・ス ポーツ	将棋棋士。 永世棋聖。タイトル戦登場48回、獲得19 期。棋戦優勝16回。A級在籍は連続26 期。1994年、特別将棋栄誉賞受賞(通 算1000勝達成)。2003年、紫綬褒章受 章。同年、日本将棋連盟専務理事に就 任。2005年から2012年までは同連盟会 長を務める。2013年、没後に旭日小綬 章受賞。(『名人を獲る 評伝米長邦 雄』、『棋士米長邦雄名言集』)	『われ敗れたり コンピュータ棋戦のすべ てを語る』(中央公論新社、2017) 『不運のすずめ』(角川書店、2006) 『幸せになる教育 子どもも親も先生も校 長も』(海電社、2001) 『運を育てる 肝心なのは負けたあと』(ク レスタ社、1993) 『米長流基本手筋実戦の攻防』(有紀書 房、1991) 『米長の将棋1〜6』(平凡社、1980)ほか	『名人を獲る 評伝米長邦雄』(国書刊行 会、2021) 『棋士米長邦雄名言集 人生に勝つため に』(日本将棋連盟、2014) 『米長邦雄の本』(日本将棋連盟、2004) 『米長邦雄とともに勝つ』(毎日新聞社、 1997) 『山梨日日新聞』(2020.8.18、20面、顔 写真あり、2013.7.1、33面、顔写真あり、 2013.3.24、5面、顔写真あり、 2012.12.19、1面、21面、24面、25面、顔 写真あり)	2024/11/29	富士川
ヨネミツ タツヒロ 米満 達弘	男	1986 	富士吉田市	富士吉田市	『山梨県人物・人材情報リスト 2013』 「広報ふじよしだ」	芸術・ス ポーツ	レスリング選手(フリースタイル)。韮崎 工時代は全国高校グレコローマン選手 権、国体グレコローマンで優勝。拓殖大 学に進み、2006年全日本選手権フリース スタイル66キロ級2位。2007年全日本 学生選手権で優勝。2008年世界学生選 手権フリースタイル66キロ級で優勝した 他、全日本選手権で初優勝。2009年、 2010年世界選手権に出場。2012年ロン ドン五輪フリースタイル66キロ級で金メ ダル獲得。同年「富士吉田市民文化ス ポーツ特別栄誉賞」受賞。身長169cm、 リーチ184cm。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』)		『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日 外アソシエーツ、2012、p477~478) 『山梨日日新聞』(2012.8.13、21面) 「広報ふじよしだ」(2012年9月号、表紙 ~3p) 「MAMOR(マモル)」(2013年3月号、p10 ~13)	2024/12/27	富士吉田
ヨネヤマ アイシ 米山 愛紫	男	1906 1973	黒駒村	笛吹市	『こんなひとがいた。東八メモ リーズ』 『武田節米山愛紫歌謡集』	芸術・ス ポーツ	作詞家。本名、直照(ナオテル)。 高校・中学・小学校の校歌、社歌、団体 歌、音頭小唄を数多く手掛けた。 代表作は「武田節」。笛吹市御坂町上 黒駒に武田節詩碑が建立されている。 (『こんなひとがいた。東八メモリーズ』) (『御坂町誌』)		『こんなひとがいた。東八メモリーズ』 (東八代広域行政事務組合、2002、 p269-277) 『御坂町誌』(御坂町役場、1971、 p1718、p1808~p1810) 『武田節米山愛紫歌謡集』(甲府ライオ ンスクラブ、1975)	2024/10/28	御坂

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ヨネヤマ キミロ 米山 公啓	男	1952 	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト 2023』 米山公啓オフィシャルウェブサイ ト	自然科学・ 医学 文学	作家、医師。 神経内科学専攻。医学博士。 時代小説作家としての名義は根津潤太 郎。 (『山梨県人物・人材リスト2023』、米山 公啓オフィシャルウェブサイト)	『すべてがうまくいく8割行動術』(ソフト バンククリエイティブ、2006) 『頭のいい人の時間攻略法』(日本実業 出版社、2007) 『新老人論』(アスキー、2007) 『医療格差の時代』(筑摩書房、2008) 『健康偽装』(ビジネス社、2008) 『AI時代に頭がいいとはどういうことか』 (青春出版社、2018) 『医師が教える元脳脳の作り方』(自由 国民社、2024) 『看取り医独庵』(小学館、2021) ※根津潤太郎名義 ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アンソニー、2022、p389~390、495) 『山梨日日新聞』(2004.8.29、5面、顔写 真あり、2007.8.29、2面、顔写真あり) 米山公啓オフィシャルウェブサイト http://yoneyamakimiro.main.jp/ (2024.11.24確認)	2024/11/24	県立
ヨネヤマ ホクアン 米山 朴庵	男	1864 1928	境村	都留市	『都留の今昔』	芸術・ス ポーツ	本名:米山登。 滝和亭の弟子。 (『都留の今昔』)		『都留の今昔』(都留市老人クラブ連合 会、1978、p87~89) 『郷土の画家展 つながる師弟』(ミュー ジウム都留/編、2019)ミュージウム都 留所蔵 『郷土の画家展 江戸時代から近代に活 躍した画家たち』(ミュージウム都留/ 編、2017)ミュージウム都留所蔵	2024/11/8	都留
ヨネヤマ ママコ	女	1935 2023	身延町	身延町	『山梨県人物・人材情報リスト 2011』 『砂漠にコスモスは咲かない』	芸術・ス ポーツ	本名:米山ママコ 旧芸名:米山曼舞子 バントマイム役者 東京教育大学体育学部卒。 1958年、NHK「私はバック」出演。 1960年渡米後、11年間放浪。日生上人 に「十牛図」を説かれ「禪トマイム」の道 へ。米国各地で大学講師を務める。 1981年、セリフ入り舞台で「ホルチモア 国際演劇祭」にて高い評価を得る。 帰国後「ママコ・ザ・マイムスタジオ」を 設立。公演活動、後進の指導にあた る。 1990年、一時米山曼舞子に改名。 1993年、第12回声原英子賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』 『砂漠にコスモスは咲かない』)	『砂漠にコスモスは咲かない』(講談社、 1977)	『砂漠にコスモスは咲かない』(講談社、 1977) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日 外アンソニー、2011、p479) 『婦人公論』(1992年1月号、p114~ 116) 『山梨日日新聞』 (2002.7.7/4面「元気甲州人」、 2004.10.5/11面、2005.5.24/10面 2014.5.18/11面、2017.7.1/39面 “山梨 が誇るイチバン「第一人者」” 2023.9.24/19面) 『毎日新聞』(1986.10.8夕刊、1面) 『朝日新聞』(1987.12.5、13面) 『東京新聞』(1990.2.15、16面) 『日本経済新聞』(1992.7.23、36面)	2024/11/30	身延